

# 哲學研究

第貳卷 第九冊

第十八號

大正六年九月一日發行

ロッセウ委當説の由來……………文學士 錦田義富

ロッセウの時代……………文學博士 朝永三十郎

若さヴェルテルの悩み……………文學士 成瀬無極

平等觀個人主義(平民主義)と  
差別觀個人主義(貴族主義)……………文學博士 藤井健治郎

自然科學的認識の性質……………文學士 安部晴之助

京師帝國大學文學科大學內

京都哲學會

## 京都哲學會規則

第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究會ヲ開ク

一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス

第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ設ク

第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會

ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス

第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得

學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スル

コトヲ得

第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓貳拾錢、前後二期ニ分チテ前納ス

ベキモノトス

第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲

學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士 西田幾多郎

文學博士 朝永三十郎

文學士 千葉胤成

文學博士 狩野直喜

文學博士 米田庄太郎

文學博士 高瀬武次郎

文學士 中川得立

文學士 植田壽藏

文學士 野上俊夫

文學博士 松本文三郎

文學士 深田武

文學博士 深田康算

文學博士 藤井健治郎

文學博士 小西重直

寶嚴方治

### 書記

認識の性質である。然しながら此等の問題は經驗科學的認識の問題に比し、一層複雑であり困難であるから、暫く之を他日に譲つて尙ほよく考へて見たいと思ふ。今は唯だ經驗科學的認識の性質に就いてのみ聊か卑見を述べて諸賢の叱正を仰ぐ次第である。

### 寄贈書籍雜誌

世界自然科學史

ギョントア著  
黒田啓次譯

洛陽堂

哲學雜誌、思潮、丁酉倫理講演集、心理研究、六合雜誌、無盡燈、東亞之光、早稻田大學、學校教育、教育、内外教育評論、普通教育、小學研究、教育研究、教育學術界、教育界、教育時論、東京教育、兵庫教育、奈良縣教育、靜岡縣教育、滋賀縣教育會雜誌、岐阜縣教育、愛知教育雜誌、都市教育、信濃教育、佐賀縣教育、藝備教育、宮城教育、愛媛教育、

### 前 號 目 次

時間論	.....	文學士	田	邊	元
感情の心理(リボーの學說)	.....	文學士	野	上	俊夫
論理的に就て	.....	文學士	野	崎	廣義
懺悔としての哲學	.....	文學士	故野	崎	廣義
彙報——新著紹介	.....	文學士	故野	崎	廣義

會

告

一、本會へ入會希望ノ方へ直接本會宛テニ御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會  
 文科大學內 振替口座大阪參〇六六參番

價定

冊	數	定	價	一	郵	稅
一冊	冊	金	貳拾錢	金	壹	錢
六冊	冊	金	壹圓貳拾錢	不	申	受
十二冊	冊	金	貳圓四拾錢	不	申	受

廣告料

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

註文規

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は實文館へ御申込下され度候  
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候  
 ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)實文館宛に願上候  
 ◎前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候  
 ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候  
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正六年八月二十五日印刷納本  
 大正六年九月一日發行  
 第十八號 第九卷



發行所 東京日本橋區本石町三丁目  
 (振替口座東京二八〇番) 寶文館

編輯者 京都帝國大學文科大學內  
 右代表者 京都哲學會  
 寶嚴方治  
 發行者 大葉久吉  
 印刷者 東京市日本橋區本石町三丁目十七番地 青柳十一郎  
 印刷所 東京市本區市谷加賀町一丁目十二番地 秀英舍第一工場

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目  
 大阪市東區淡路町四丁目 寶文館

賣捌所 (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
 良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館  
 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館